御　中

平成　　年　　月　　日
アイカ工業株式会社甚目寺工場
化成品カンパニー品質管理グループ
問合わせ先 052-443-4811

ＳＤＳ（安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓
　貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のＳＤＳを送付させて頂きます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当ＳＤＳをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。
　尚、誠に恐れ入りますが、ＳＤＳを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までＦＡＸにてご返送くださいますよう、併せてお願い申しあげます。

敬具

店所記入欄

店所名：　　　　　　　　　担当者：

ご送付日　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日
ＳＤＳ送付先顧客様　　　　　　　　℡
製 品 名

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画課宛にＦＡＸお願いします。

ＳＤＳ受領書

製品名

返送先
アイカ工業株式会社甚目寺工場
生産企画部
FAXNo. 052-443-4825

平成　　年　　月　　日

貴社名：　　　　　　　　ご担当部署：　　　　　　　　ご担当者名：　　　　　　　印

ご住所：　　　　　　　　　　　　　　℡：

ご記入のうえ切り離さず本紙をそのまま返送先までＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申しあげます。

以下、余白

安全データシート

1製品及び会社情報

会社名　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見24番地
担当部門　　化成品カンパニー品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　FAX番号　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号　ＤＳＥ－００９８－６

作成日　２０１１年１１月１１日
改訂日　２０１５年　２月２４日

製品の名称　　アイカエコエコボンドＳＥ－３５Ｃ２０（ダークグレー）
Ｃ２１（ライトグレー）
Ｃ９０（ホワイト）

2危険有害性の要約

ＧＨＳ分類　：　皮膚感作性　区分１
水生環境急性有害性　区分３
水生環境慢性有害性　区分３
※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示　：

注意喚起語　：　警告

危険有害性情報　：　皮膚刺激
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き　：

【予防】
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
- 静電気放電や火花による引火を防止すること。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用し、換気を充分行うこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 容器を密閉しておくこと。

【対応】
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、付着物をふき取り、多量の水と石鹸で洗う。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
- 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管する。

【廃棄】
- 内容物や容器は焼却設備で少量ずつ焼却する。又、産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。

「製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　：　混合物
化学名　：　変成シリコーン・エポキシ樹脂
成分及び含有量　：

成　分　名	含有量(%)	ＣＡＳ番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
変成シリコーン樹脂等、無機充填材	９０～９９	非公開	非公開
内) ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂(液状)	０．５～２．０	２５０６８－３８－６	(７) －１２７９
酸化チタン	１～１０	１３４６３－６７－７	(５)－５８８
すず及びその化合物 (ジブチルスズ化合物)	０．１～０．９	非公開	非公開

※不純物として、トリブチルスズ化合物を3ppm未満含有します
但し、ビストリブチルスズオキシドは含有しません

４応急措置

目に入った場合　：清浄な水で１５分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ，炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。
吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、安静，保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合　：多量の水，牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

５火災時の措置

特定の消火方法　：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤　：水［　］，二酸化炭素［○］，泡［○］，粉末［○］，乾燥砂［○］
その他（　　　　　　）

６漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項：付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する
多量の場合には流路を盛土などで囲って流出を防止する。
除去方法　：少量の場合は、ウエス，砂などに吸収させ、フタ付の容器等に回収する。
多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
※流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

７取扱い及び保管上の注意

取扱い　：皮膚に触れないよう保護手袋等の保護具を着用する。取扱い後は手洗いを充分に行う。火気厳禁。
混合接触させてはならない物質：知見なし
容器包装材料：容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
保　管　：直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。
消防法の法令に定めるところに従う。

８暴露防止及び保護措置

設備対策　：状況に応じ、局所排気装置を設置する。
管理濃度　：データなし
許容濃度　：日本産業衛生学会，ＡＣＧＩＨともにデータなし。
保護具　：呼吸器の保護具：状況に応じ、防塵マスク，防毒マスクを着用する。
目の保護具：状況に応じ、普通眼鏡型，ゴーグル型を着用する。
手の保護具：状況に応じ、ビニル製，ＰＥ製，ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

９物理及び化学的性質	物理的状態	:	均一なペースト状
	色	:	ダークグレー(C20)、ライトグレー(C21)、ホワイト(C90)
	比重	:	約 1.6g/cm³ (23℃)
	臭い	:	ほとんどなし
	PH 及びその濃度	:	測定不可
	引火点	:	100℃以上
	発火点	:	データなし
	不揮発分	:	95%以上
	粘度	:	約 550Pa・s (23℃)
	溶解性	:	水に不要
	蒸気圧	:	該当せず
	蒸気密度	:	空気より大
	物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	:	知見なし

１０安定性及び反応性	安定性	:	通常の取扱い条件においては安定。
	特定条件下で生じる危険な反応	:	知見なし
	避けるべき条件	:	加熱、加湿、冷凍
	危険有害な分解生成物	:	知見なし

１１有害性情報	急性毒性（経口）	:	混合物の推定値 ATEmix=11400mg/kg から区分外に分類される
	急性毒性（経皮）	:	確定値が得られていないため分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	:	ＧＨＳの定義による液体
	急性毒性（吸入：蒸気）	:	データなし
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	:	データなし
	皮膚腐食性・刺激性	:	区分２成分を１０％未満含有するが、他に情報が無いため区分外とした
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	:	区分２成分を１０％未満含有するが、他に情報が無いため区分外とした
	呼吸器感作性	:	分類できない
	皮膚感作性	:	区分１成分を０．１％以上含むため、混合物として区分１に分類される
	生殖細胞変異原生	:	混合物として区分外
	発がん性	:	区分２成分を含有するが、飛散の可能性がないため分類できないとした
	生殖毒性	:	混合物として区分外
	特定標的臓器・全身毒性	:	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	:	分類できない

１２環境影響情報	水生環境急性有害性	:	区分１成分×１００が２５％を超えるため、区分３に分類される
	水生環境慢性有害性	:	区分１成分×１００が２５％を超えるため、区分３に分類される

１３廃棄上の注意	残余廃棄物	:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 本品は、７０℃以下の引火性成分を含む混合物（特別管理型産廃）に分類される。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
	汚染容器・包装	:	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

１４輸送上の注意	「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。その他、消防法，船舶安全法等の法令に定める所に従う。 容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 国連分類・番号： 該当せず

１５適用法令

消防法	：	指定可燃物　可燃性固体類
労働安全衛生法　第５７条－１（表示対象物質 ）	：	該当せず
第５７条－２（通知対象物質）	：	すず及びすず化合物、酸化チタン
ＰＲＴＲ法	：	該当せず
毒物及び劇物取締法	：	該当せず

１６その他の情報

ＪＩＳ Ａ ５５５７（外装タイル張り用有機系接着剤）認定品
ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定
ＪＡＩＡ０１０５０８ Ｆ☆☆☆☆
４ＶＯＣ放散速度基準：
日本接着剤工業会自主管理規定　ＪＡＩＡ－４０４５０９　４ＶＯＣ基準適合

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

- １４１０２の化学商品　化学工業日報社
- 化学物質の危険，有害便覧　中央労働災害防止協会
- 知っておきたい職場の化学物質　中央労働災害防止協会
- ＧＨＳ対応による混合物（化学物質）の ＭＳＤＳ作成手法の研修テキスト（改訂版）　中央労働災害防止協会
- 製品安全データシートの作成指針　日本化学工業協会
- 原料メーカーのＳＤＳ　各原料メーカー